

岩手県内信用金庫職員の座談会 ～地域金融の現場から～



地域金融の最前線で活躍する信用金庫の職員が、日頃の業務で感じている地域の課題や前向きな取り組みなどを情報共有し、各信金の課題解決や地域連携、自己研鑽の一助とすることを目的に、東北財務局盛岡財務事務所がコーディネーターとなり、職員同士が意見交換をできる場として座談会を開催。

■ 地域金融機関を取り巻く課題

- 急速に進行する人口減少・地域経済の縮小と、それに伴う地域金融機関に対する更なる期待の高まり
- コロナ禍における「人」と「人」との接触機会の減少、信用金庫同士の連携・情報交換の機会の必要性
- 地域金融機関における更なる人材育成の必要性

■ 座談会のポイント

- 参加者の自主性を尊重したボトムアップによる取り組み
- 参加者自らが座談会の結果を各々の組織に還元
- 組織間、世代間交流の促進
- 今後の定例開催と、コロナ後を見据え対面での開催を検討

■ 岩手県内の信用金庫

○ 岩手県内6信用金庫は、経済、社会、環境の各分野で連携し、地域の特性を生かした取り組みを進めている



県内6信金がSDGs共同宣言を公表
2020年6月15日



■ これまでの開催概要

★ 第1回・令和3年3月2日(火)15:00～16:30【リモート開催】

～コロナと戦い、コロナ後の地域を創造する～

コロナ禍における地域金融の現場にスポット。身近な生活の変化から営業活動の変化、コロナ後の地域金融について意見交換。



★ 第2回・令和3年10月19日(火)15:30～17:00【リモート開催】

地域との“つながり”を考える ～これからのコミュニケーションとは～

お客様や職場内でのコミュニケーションに着目。業務を通じて感じている課題や各信金での取組等について意見交換。



★ 第3回・令和4年12月7日(水)15:00～16:30

【対面及びリモート開催】

～金融経済環境が多様化・複雑化する中で信金職員に求められる役割とは～

デジタル化、脱炭素・SDGsなど、環境の変化や業務の多様化が進む中、業務において感じる課題や各信金での取組等について意見交換。

